



# たんぽぽ組だより

11月

令和3年11月19日 ときわ保育園 担当: 齋藤

肌に触れる風がだんだんと冷たくなってきましたが、子ども達は元気いっぱい、戸外遊びや散歩を楽しんでいます。なかでも最近では「かくれんぼ」が流行しています。

9月頃、まずは鬼役の保育者から逃げるだけの簡単な鬼ごっこから取り入れていき、そこに「隠れる」「見つかったら鬼」という2つのルールを徐々に加えていきました。

今では「いーち、にー、さーん... もういいかい」「まあだだよ。」のやりとりから始まり、「こっちにかくれよう!」「みつかっちゃー!」など、相談しながら身を替める子や、驚かそうと忍び足で近づいてくる鬼役の子の姿などがあります。隠れているつもりでも、全身丸見えの子などもあり、思わず笑ってしまう場面もありますが、今後とも「かくれんぼ」とおし、社会性や忍耐力、考える力などが養えるよう工夫して楽しんでいきたいと思っております。

さて、生活面では、「うがい」が始まりました。

マイコップを大事そうに抱え、順番を待つ子ども達は名前を呼ばれると嬉しそうに「ブクブクバー」をしています。袋からコップを出し入れするのにまだ慣れない子もいますが、楽しみながら身体の衛生を保つ習慣を身につけていきたいです。

